

(様式第9号)

## 高槻市立阿武山中学校区運営協議会 会議録

令和7年11月18日作成

会議の名称	令和7年度 高槻市立 阿武山 中学校区 学校運営協議会		
会議の開催日時	令和7年11月17日(月) 18:00 ~ 19:25		
会議の開催場所	高槻市立土室小学校 ランチルーム	公開の可否	可
担当課	教育指導課 教育総務課	傍聴者数	1人
非公開の理由 (非公開(会議の一部非公開を含む。)の場合)			
出席委員(委員)	長井勘治 松本 大 鈴木啓輔 田中忠一 田淵慎太郎 丸野裕志 三木正二郎		
出席委員(学校)	(阿武山中学校) 丹家 敬 山田伸一 清水琢也 (土室小学校) 井澤美穂 松江仁志 藤居正吾 妹尾龍之介 古市恵子 野村典史 山田涼平 (阿武山小学校) 浅香一世 羽倉陽三 井上謙吾 大西智子		
会議の議題	議案1 グランドデザイン教育目標に関する取組 全国学力・学習状況調査 地域との取組 議案2 その他 評価指標		
配付資料	・高槻市立阿武山中学校区 第2回学校運営協議会 次第 ・配席図(資料1) ・阿武山中学校区、各校の取組状況(資料2) ・評価指標(学校教育自己診断)(資料3)		
審議等の内容	令和7年度の重点取組 進捗の報告 質疑		

(別紙)

## 高槻市立阿武山中学校区運営協議会 会議録

1. 開会	委員の出席確認（欠席：中平委員） 本会議の成立確認 写真撮影の了承 校長 開会のあいさつ 参加者の紹介 資料確認 会長 あいさつ
2. 議題	傍聴希望者の確認（0名）→（1名） 阿武山中学校区、各校の取組状況 議案Ⅰ ・ グランドデザイン教育目標に関する取組 ・ 全国学力・学習状況調査 ・ 地域との取組 議案Ⅱ その他 ・ 評価指標
3. 質疑・意見交換	質疑応答等 1、確かな学力の育成 （委員）確かな学力の育成という目標だが、何を課題だと捉えてこの取組をしているのか。 取り組んだ結果、それがどうだったのかがわかると尚よい。  （委員）学力という言葉の意味は変革し続けている。かつては知識理解を身につけることが勉強。今では学力観が変わり、子どもが自分で学ぶ、生活の中から問題をみつけ、解決していくことが大切だとされている。今では静かな教室で先生が前に立って話しているような授業ではない。子ども同士が意見を交わし、話し合う。子どもが自身で課題をつかむということが大切。  （委員）高校でペアワーク、グループワークをすると、画期的に意見がでる。小学校、中学校で話し合いを積み上げてきたことがわかる。積み上げてきた成果だといえる。

(委員) 受験のための学力も必要とされているが、知識技能だけでなく、思考判断表現、学びに向かう力の三観点が大切。学校ではそういったことに取り組んでいると思う。次回、どのような現状で、どのような力がついたのか、アンケート等で結果を聞かせてもらいたい。

(委員) 話し合いを積極的にしている子どもは、学力が上がる傾向にあるのか。効果があったかどうか。先生方からお伺いできたらと思う。

(委員) 大切なのは、学力が低い子ども、友だちとうまく関われない子どもの気持ちができる人。こんな人が教育者として大事。生きる力、思いやる力が真の学力ではないかと思っている。

(委員) 家庭での勉強も大事。しかし家庭環境には個人差がある。見てくれる人がいない。個人のやる気にもよるが、家庭学習のサポートはできるのか。

(委員) 家庭学習というと、保護者は嫌がる。家庭学習は親も一緒に考えてあげるもの。学校には、家庭学習を完璧にするというより、親子のつながりをもってもらうことを大切にしてもらいたい。親子で話す機会があれば、それが家庭学習になる。認識を変えるための周知のようなものがあればいい。

(学校) 週に一度、ホームスタノートという専用のノートを使って学習をしている。自分たちでテーマを決め、計画を立てて、週末に、調べたり練習をしたりして学習する。中には復習をしたり、好きなことを調べたり、実験をしたりしている。自分で選んで学習をしている。家庭で学習をすることに気が向かない児童も、好きなことならできる。テストに直結しないことでも、学力としてみている。

(委員) 学校では学習目標を立てたり、自由選択をする。自分で主体的に取り組む中で、プロセスを学ぶ。それらが結果として確かな学力につながるのではないか。

(委員) タブレット端末は持ち帰っているのか。

(学校) 夏休み等、長期休暇の際に持ち帰っている。普段でも希望者は持ち帰り、自主学習に使ったりしている。

## 2、健やかな体と豊かな人間性の育成

(委員) 失敗から学ぶ、意思決定の場を増やすということは、子どもにとって非常に大切。先生も失敗するところを見られる機会もあればいいのではないか。失敗したらどうしようという不安がある中で、先陣を切って教師が見せてあげることも大事。一緒に悩み、失敗をみせる。

(委員) 先生が失敗する機会は、実はいっぱいある。小学校の先生は全教科を教える。遠足の道順、書き順…。少々の失敗を許してくれるのが子ども。よく見ている。間違っただけを教える危惧は常にある。

(委員) 新しい環境になると、どうしても引き気味になる。けんかをして修復ができない。転地療養的に動いてしまう傾向がある。いざ社会に出るとこれは問題。トラブルを経験し、乗り越える力をつけることが大切。

(委員) 挑戦をすることが大切。何もしないことが失敗。うまくいかないことは失敗ではないことを教えたい。

## 3、魅力ある環境づくり

(委員) 学校の環境だけではなく、家庭・地域の環境も大切。家庭の環境は様々。家庭環境の差がないよう学校は工夫をしている。

(委員) 家庭環境には踏み込みが難しいのか。朝食のことや、服装について言いたいことがあっても、学校という組織となると、言いづらいということはあるのか。

(学校) 保護者の働き方が変わっている。その中で、連携は取りにくいところはある。関係機関と連携をとりながら子どもを育てている形は増えてきている。

(学校) 保護者には昔から伝えている。ただ、連絡が遅れないようには

している。その日のうちに連絡する。奨学金の紹介など、言いにくい話ではあるが、経済的な話をすることもある。

(学校) 以前と比べて働く方が増えたが、携帯電話の普及で連絡はとれる。ただ、父親の教育参加は増えた。授業参観や学校への訪問も、父親が同席することが増えた。

(委員) 働き方改革の中で、様々に状況は変わっている。地域の中で子どもに声をかけていくことが大切。連携を推進していただいてありがたい。

#### 4、全国学力・学習状況調査

(委員) 高槻市は平均が高いといわれている。その中で、課題をみつけ、取り組まれていることは良いこと。

(委員) 読書活動は、高校生になると人により様々。文字との出会い方も様々。行間を読めない。注意事項が読めない。文字を読む習慣が大切。小・中学校に通っている間に身につけてほしい。

(委員) AI がしてくれる読み書き、そろばん、漢字、九九が果たして必要なのだろうか。大人になったときに役立つのか。学校も保護者も、見極めが大事。

(委員) デジタル教科書と印刷された教科書の併用は進んでいるのか。

(学校) 決定はしていない。これから考えられていく。

(委員) しかし、結局は読み書き、そろばん、漢字、九九を、テストで測られるから学ぶ必要がある。

(委員) 漢字を覚えるために漢字を学ぶのではなく、その過程の中から学ぶ意味を見つけ出してほしい。ただ、今の時点では習わなければならない。試験がある。読解力でも、現時点では、ないと困る。色んな文章や詩にふれる機会が増えてほしい。

(委員) 先生がおすすを教えてあげることが一番いい。絵本でも小説

でもいい。子どもが読みやすくなる。

(委員) 読書が好きな子はどれくらいいますか。

(学校) 全国と比較しても、読書が好きな人は多い。色んな本をもってきている。阿武山図書館がある環境は大きい。

(委員) 書く機会は少なくなっても、読む機会はなくなるらない。読書活動はなくさないでほしい。

(委員) いきた言葉を話せるようになってほしい

(委員) イギリスでは教室に100冊ほどの本棚がある。活字に触れる機会を増やしたい。

#### 5、地域との取組

(委員) 阿武山小学校と土室小学校では、田植えと稲刈りの体験をしている。阿武山中学校では防災教育として、防災の話もした。今は土室小学校3年生の社会見学を、保護者やセーフティボランティアと協力して実施することを計画している。

(委員) 産業の大変さや日本文化を教えてきた。小学校に出前授業をしている。古武道を伝える人もいる。たくさんの人がいるので、何でも言ってほしい。

(委員) つながっておくと、災害時に支え合える。地元地域でつながりが深まっていくことが、地域の活性化、強みになる。

(委員) お弁当やボールペンなど、地域のお店で買ってもらえると助かる。ポスターをはらせてもらうなど、地域とつながるチャンスになる。

(委員) 教育ボランティア募集など、さまざまな形で連携していく機会はある。

4. 閉会	<p>6、評価指標</p> <p>(委員) 主体性を評価する項目はどれにあたるのか。取組に関わる質問にしたほうがいいのでは。もう一步踏み込んで聞くようなアンケートを入れていったほうが評価できるのではないか。</p> <p>(委員) 学校が何を問題として捉えているのかを、保護者として知っておきたい。それがはっきりとみえると、こちらも動きやすい。</p> <p>(委員) 取組がうまくいっているのかどうかということを、評価指標に入れていくのがいい。数値目標を出すとうい。</p> <p>(委員) やっただけにならないように、定量的な評価を出してほしい。</p> <p>(委員) 楽しい学校にしてほしい。楽しい授業、楽しい学校に。</p> <p>次回の予定の連絡 校長 閉会のあいさつ</p>
-------	--